System-V・LX

プリンタ手引き書

～NPP845～

（１０．９）

【取扱説明書】

目　次

使用上の注意

● 用紙に関する注意

用紙は、それぞれ以下を使用して下さい。 Ｂ５･･･縦目（Ｔ目）　Ｂ４･･･横目（Ｙ目） Ａ４･･･縦目（Ｔ目）　Ａ３･･･横目（Ｙ目） プリンタ対応用紙があります。	紙づまりの原因になります。 縦目・横目がよく解らない時には、プリンタ対応用紙を使用して下さい。
用紙をホッパに入れる際には、さばかずそのままセットして下さい。	さばいた場合、静電気により用紙が２枚重なって出る場合があります。 元帳用紙の場合、穴に紙くずが入っていないか確認して下さい。トナーを傷付ける場合があります。
裏紙は使用しないで下さい。 （一度熱を通した紙含む）	熱を通す事で紙質が変化し、正常に紙送りがされず紙づまりを起こす場合があります。 紙づまりをした紙は、ドラムを傷付ける場合があります。 裏面印刷されている紙（裏紙）を使用すると、トナーが熱で溶け、定着ユニットに張り付く可能性があります。
薄紙は使用出来ません。 （税務署から送付されてくる官製用紙など） ※ OCR用紙の１枚目は使用可能	紙づまりの可能性がかなり高くなります。 用紙がよれてしまい、正常に紙送りされず、紙づまりします。 定着ユニットに用紙が巻き込まれる可能性があり、用紙除去が困難になります。（サービスマン派遣になります。）

● トナーに関する注意

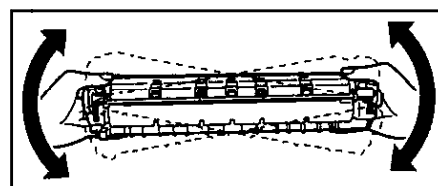
新しいトナーよりテープを引き抜く作業の前に、必ずよくトナーカートリッジを振って下さい。	トナーを振らない場合、テープ切れの原因になります。 テープ切れを起こすと、正常に印字ができなくなる可能性があります。また、テープが切れた場合、トナーの交換は出来ません。 十分、ご注意ください。
トナーのドラム部分およびドラムシャッター部分には触れないようにご注意下さい。 ※ドラム…トナーに付いている青緑色で 円筒形の装置です。	ドラムに傷が付くと、印刷をした際に線がでる場合があります。 ドラムの傷は修復不能です。丁寧に扱って下さい。 直射日光、蛍光灯の光に当てないようにして下さい。

● その他

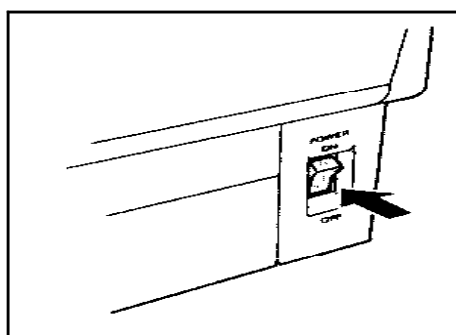
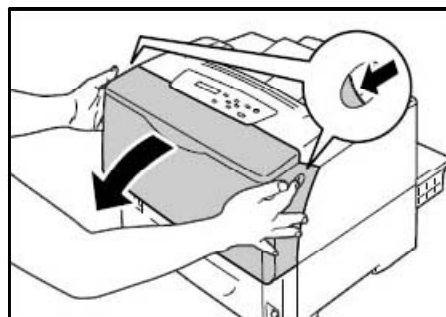
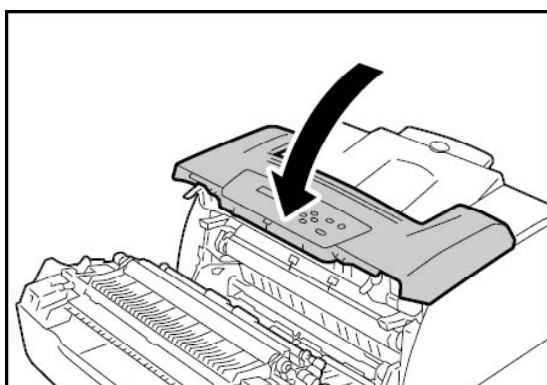
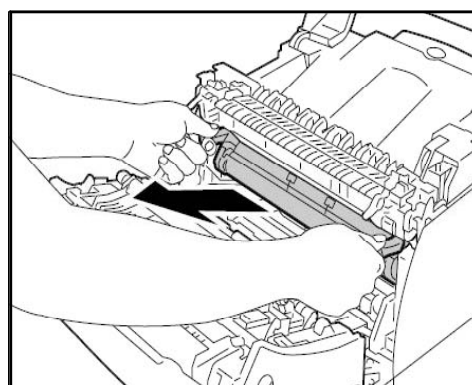
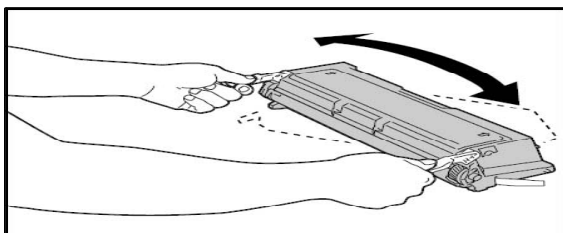
ホッパは静かに閉めて下さい。	勢いよくホッパを閉めると、ホッパ内のセンサーが折れてしまう場合があります。 ホッパ内のセンサーが折れると、正常に紙を感知できなくなり、印字に不都合がでます。

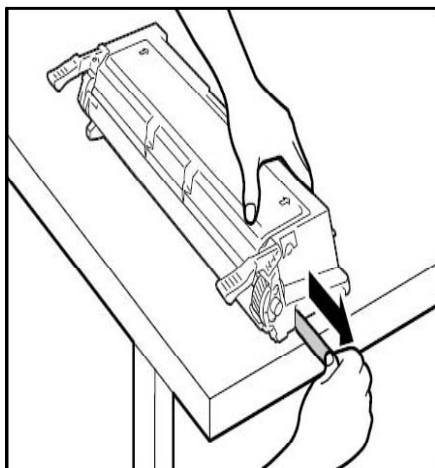
トナーカートリッジの交換方法　　　　　　　　　　（NPP845）

● 交換する前に

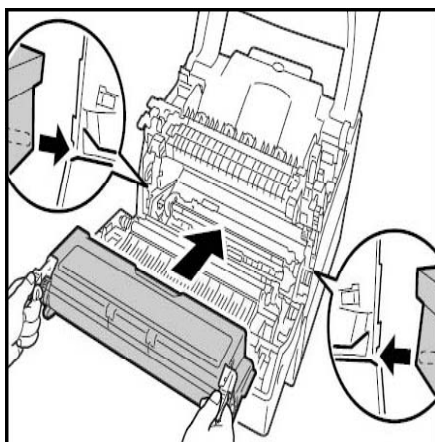
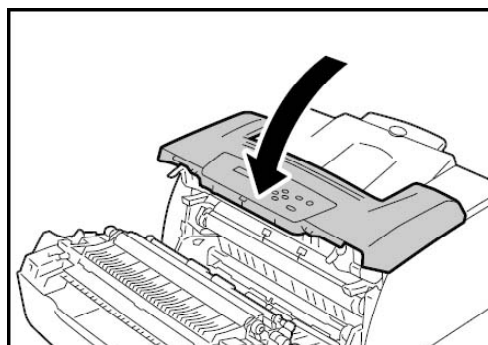
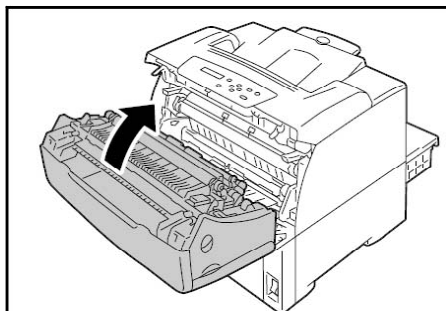
ディスプレイに”トナーカートリッジノコウカンジキデス　［ストップ］ヲオストプリントデキマス”と表示され、トナーランプが赤く点灯したら、トナーの 交換時期です。
トナーカートリッジの予備を用意してください。
ストップ　ボタンを押しますと、しばらく出力できます。
又、図のように振っていただくと、しばらくの間、トナーを使用できる場合があります。

※ トナーランプが点灯していない状態で印字が薄い場合、トナーが中で固まっていることがありますので、同じように軽く振って下さい。

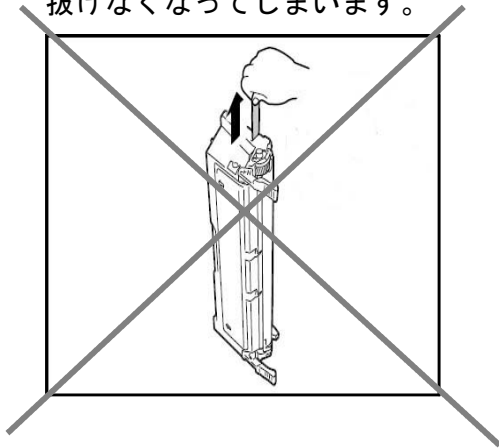
●トナーの交換方法

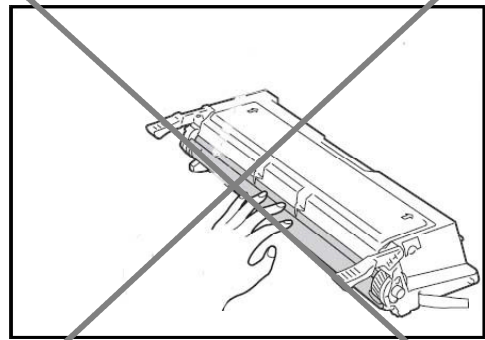
1. 電源スイッチをＯＦＦにします。

2. 左右の開閉レバーを引いて、フロントカバーをゆっくり開けます。

3. トップカバーを開けます。

4. 使い終わったトナーを取り出します。

5. 新しいトナーを10回程度、図のように振ります。

トナー手前の青緑色をしたドラム部分には、
絶対に触れないようにご注意下さい。

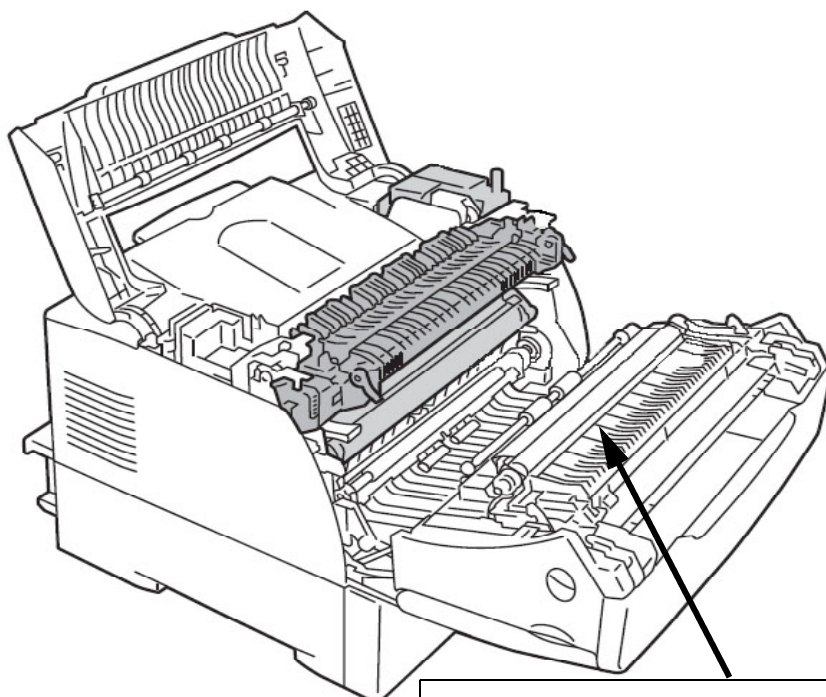
6. トナーを平らな場所に置き、側面に留められているトナーシールを抜き取ります。

※ 注意 ※

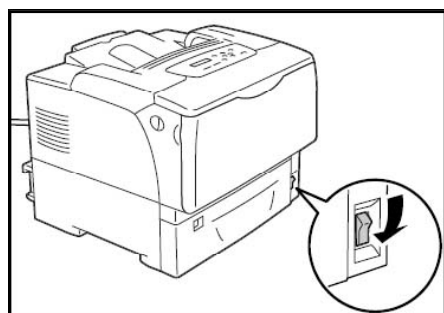
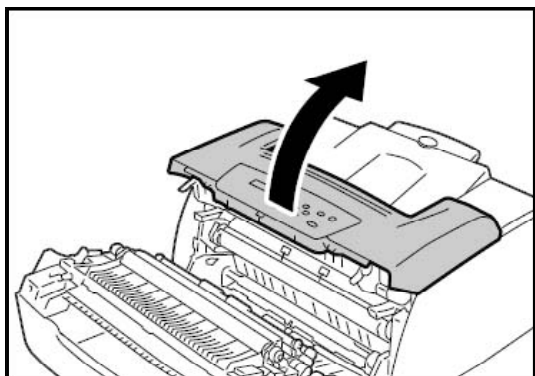
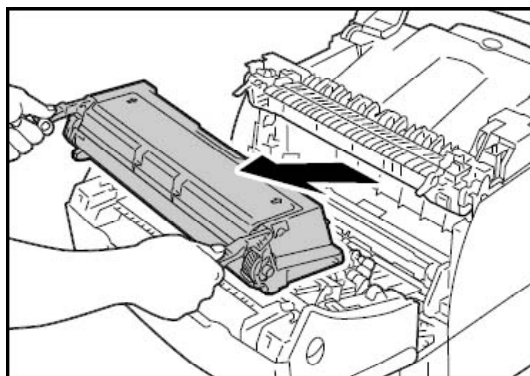
トナーシールは、まっすぐ引き抜いて下さい。
斜めに引くと、途中で切れる恐れがあります。
引き抜いたトナーシールの長さは、約70cmになります。
途中でビニールが切れてしまった場合、トナーが使用できなくなる場合がありますので、慎重に作業を進めて下さい。
テープが切れてしまいそうな時はご連絡下さい。
(切ってしまった場合は交換不可)

7. トナーをセットします。

8. トップカバーを閉めます。

9. フロントカバーを閉めます。

トナーの注意

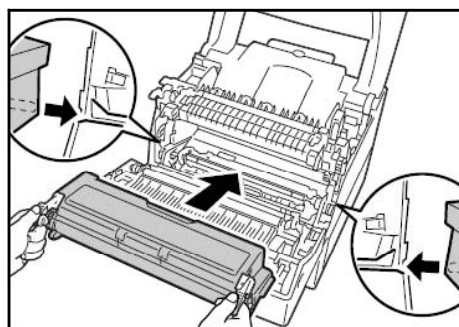
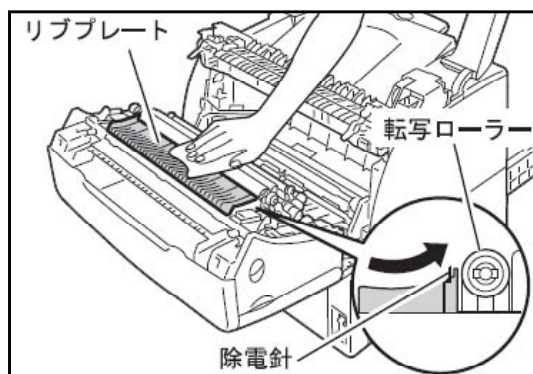
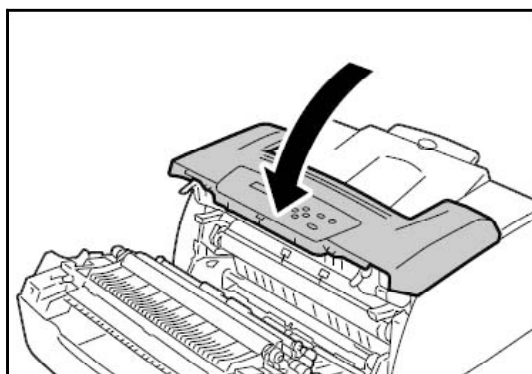
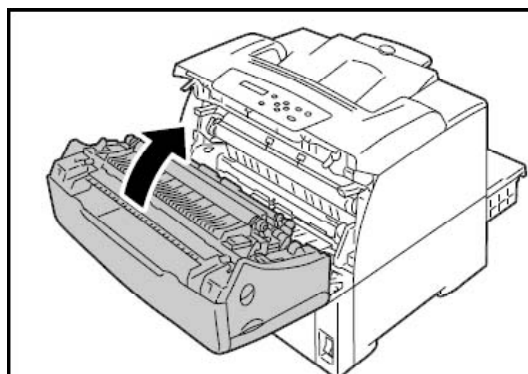
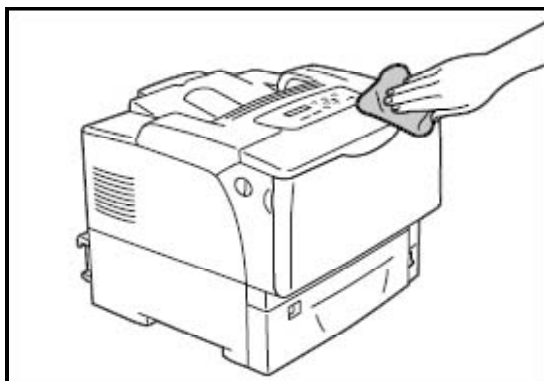
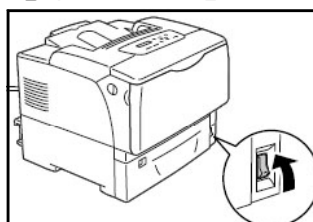
- トナーを縦にしてトナーシールを引き抜かないようにして下さい。
  抜けなくなってしまいます。

- ドラムシャッターは触ったり拭いたりしないで下さい。
  ドラムに傷が付き線がでてしまいます。

清掃方法　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(NPP845)

プリンタは、**最低１ヶ月に１回**清掃をして下さい。
トラブルを防ぐ為に必要です！
清掃を行うことによって、**トナーの寿命も長くなります**。

● 清掃箇所と清掃時期

１．電源スイッチをＯＦＦにします。
　　電源コードをコンセントから抜きます。

２．フロントカバーを開けます。

３．トップカバーを開けます。

４．トナーを取り外します。
トナーは平らな場所に水平に置いて下さい。

５．リブプレートを柔らかい布で拭き取ります。

※転写ローラー・除電針には触らないで下さい。

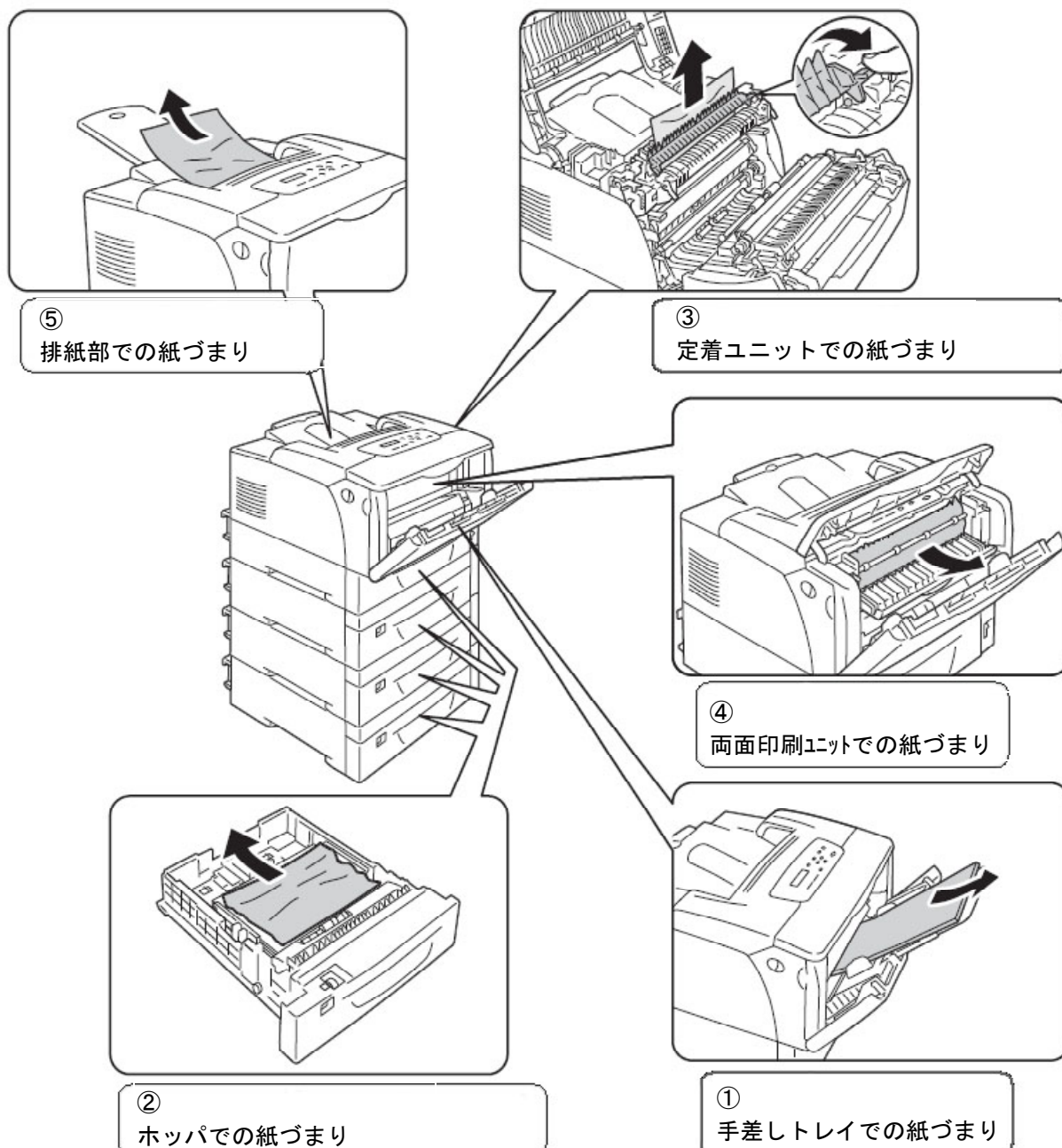
６．トナーを取り付けます。

７．トップカバーを閉じます。

８．フロントカバーを閉じます。

９．外観の汚れは柔らかい布で拭き取ります。

１０．電源コードをコンセントにさします。
電源スイッチをONにします。

以上で清掃方法は終了となります。
詳しくはユーザーズマニュアルをご確認下さい。

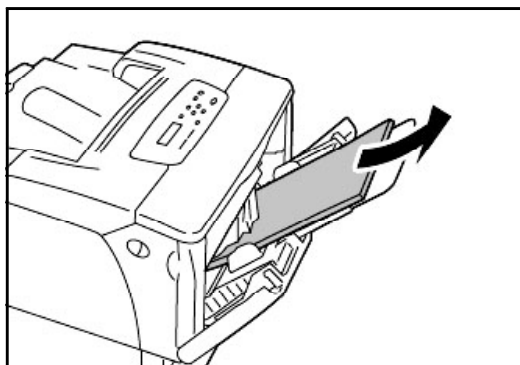
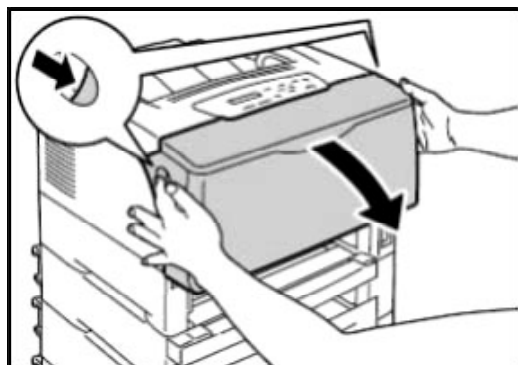
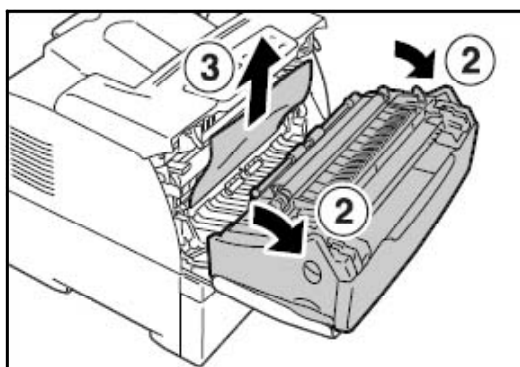
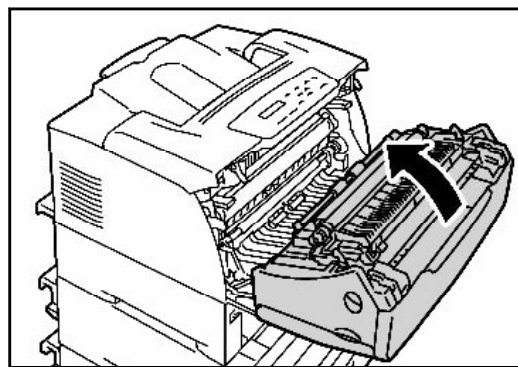
紙づまりの処理方法　(NPP845)

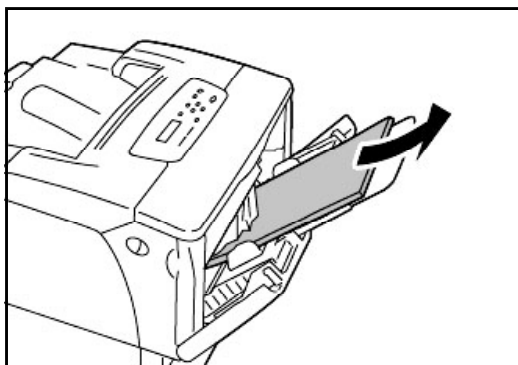
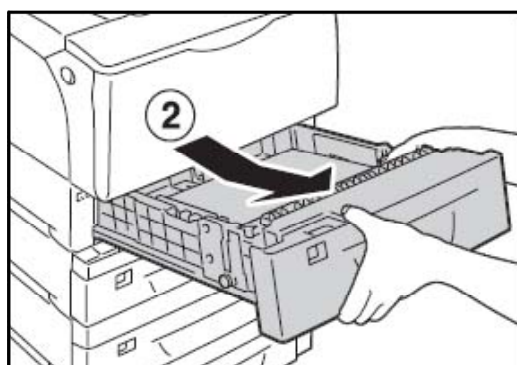
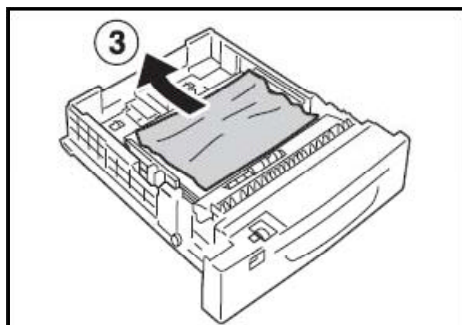
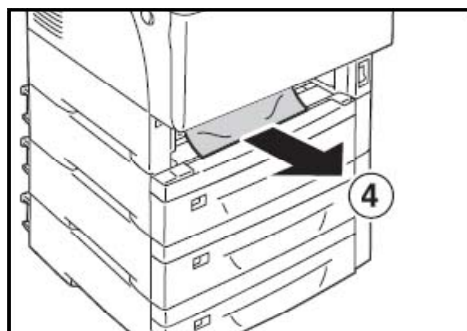
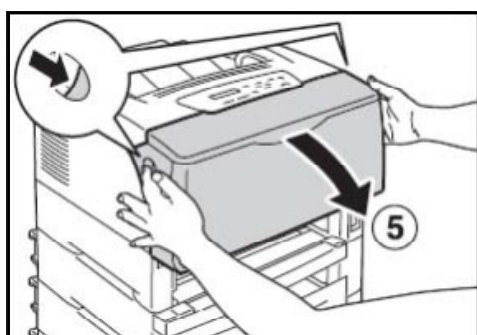
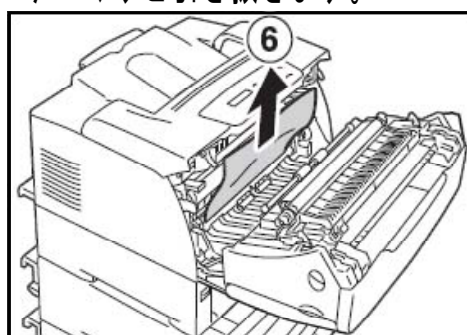
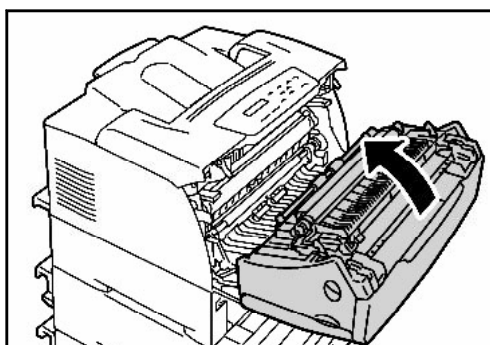
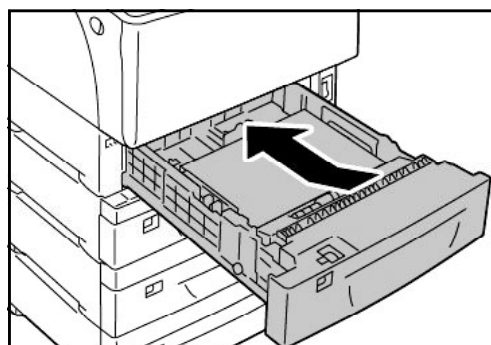
● 紙づまりが発生すると、アラームが鳴り、ランプが点滅します。
同時に、プリンタが止まり、操作パネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

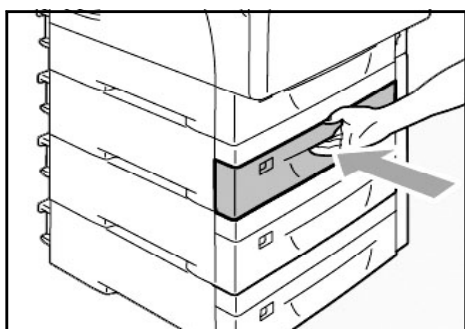
注意 ！！

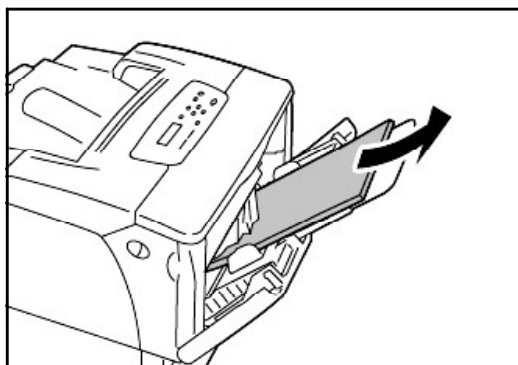
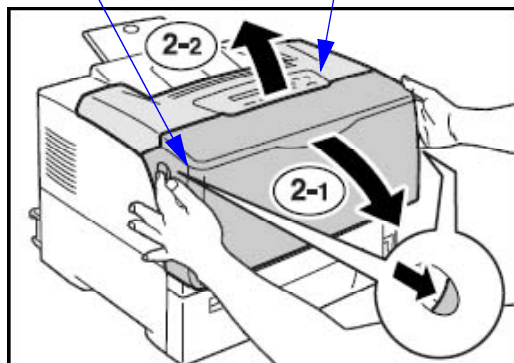
つまった用紙は、無理に引き抜かないで下さい。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片が、プリンタの正しい用紙送りを妨げることがあります。
また、処理作業は電源ＯＮのままで行って下さい。

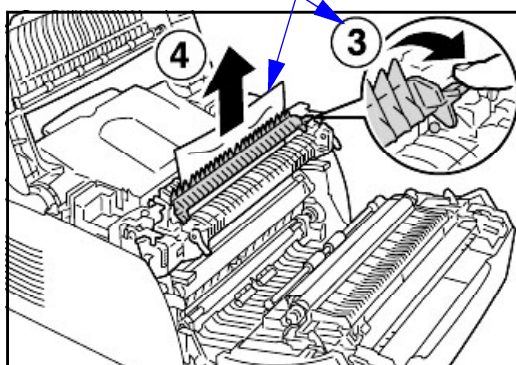
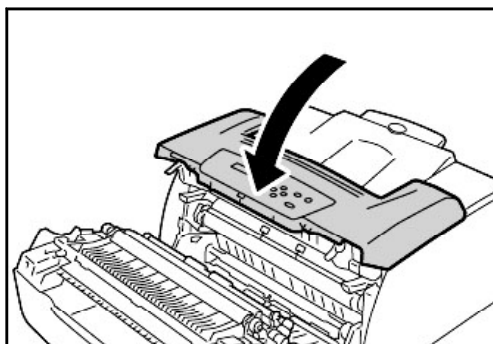
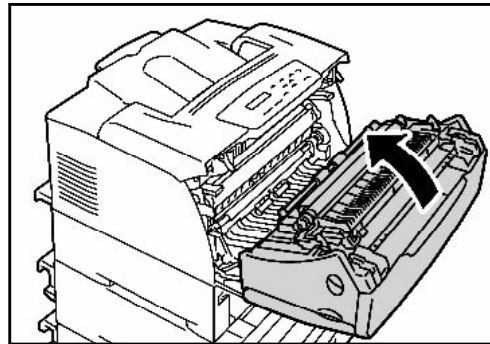
● 紙づまりの処理方法
まず各エラー内容を確認し、紙づまりの位置を確認して下さい。
※手差しトレイに用紙をセットしている場合は、まず手差しトレイの用紙を取り除き、手差しトレイを閉じてから紙づまり対処を行ってください。

① 手差しトレイで紙づまりした場合

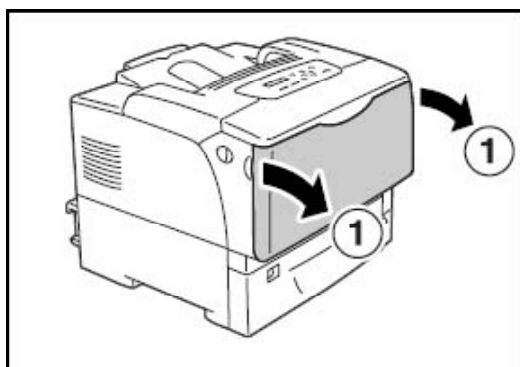
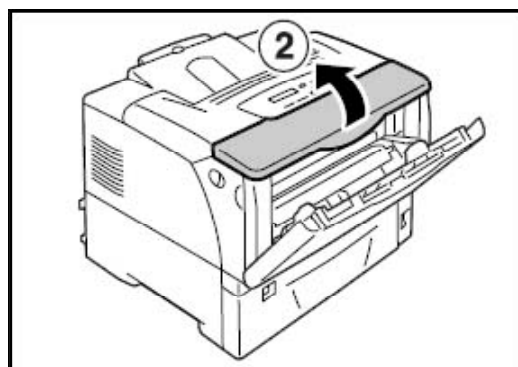
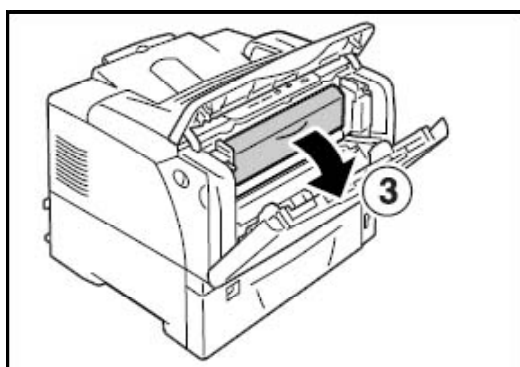
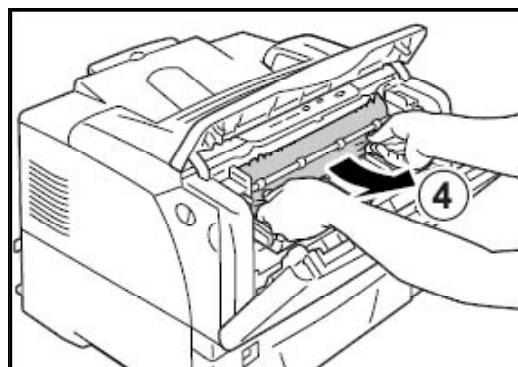
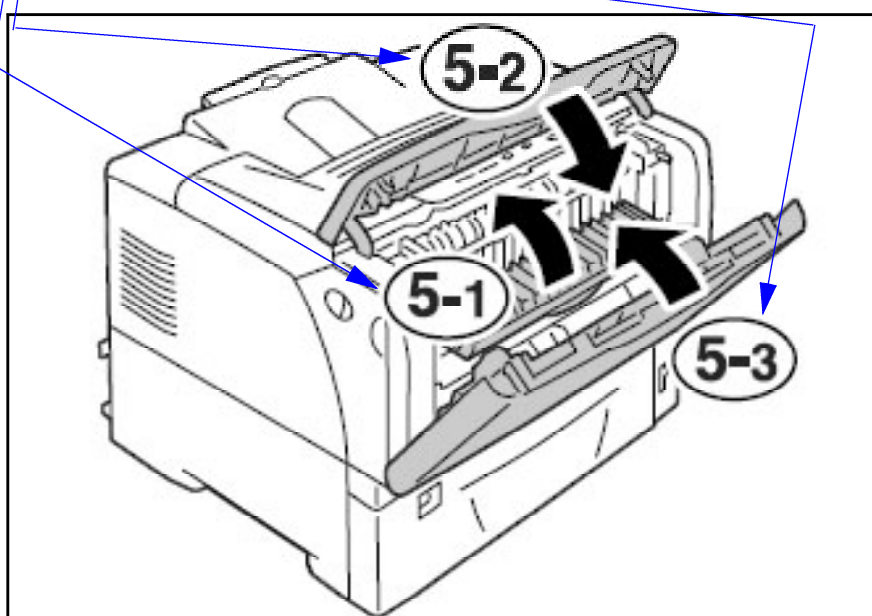
1．手差しトレイに残っている用紙を取り除きます。手差しトレイを閉じます。

2．フロントカバーを開けます。

3．つまった用紙を取り除きます。

4．フロントカバーを閉じます。

② ホッパで紙づまりした場合

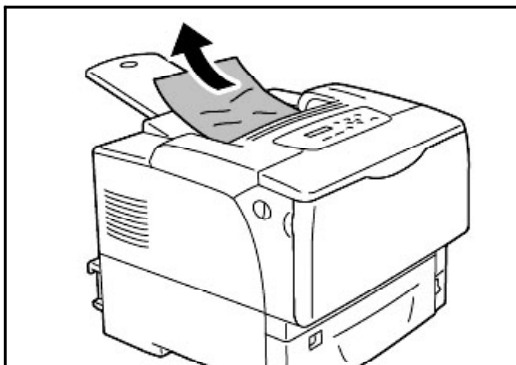
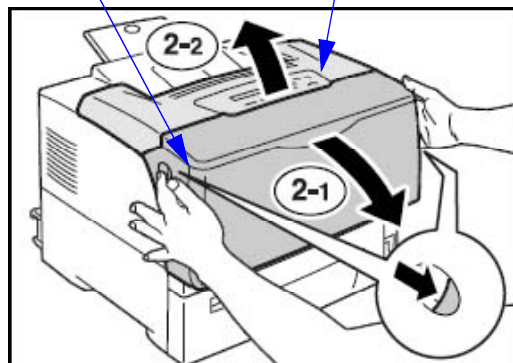
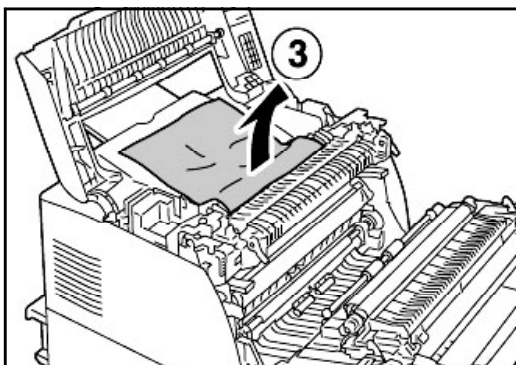
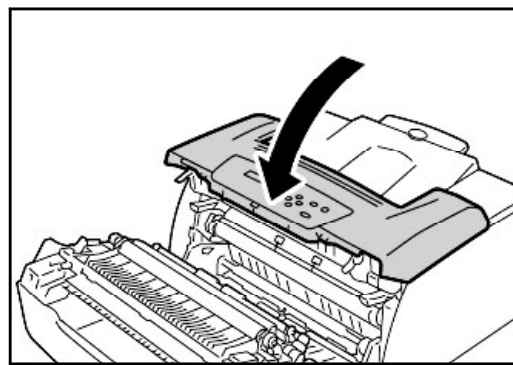
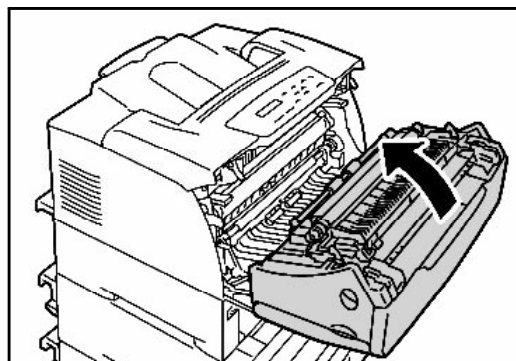
1．手差しトレイに残っている用紙を取り除きます。手差しトレイを閉じます。

2．ホッパを取り外します。

3．つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

4．プリンタ内部につまった用紙がある場合は用紙をゆっくりと引き抜きます。

5．フロントカバーを開けます。

6．つまった用紙があった場合、ゆっくりと引き抜きます。

7．フロントカバーを閉じます。

8．ホッパをプリンタの奥までしっかり押し込みます。

※ホッパが２段以上ある場合

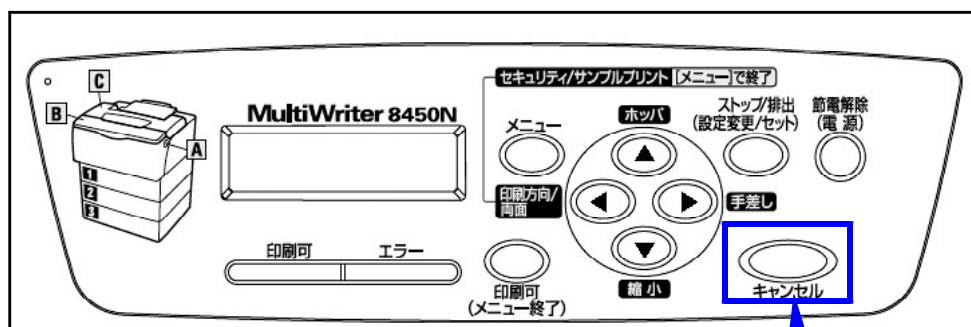
他のホッパに用紙がつまっている可能性があります。
紙づまり表示が消えない場合は、他のホッパも調べて下さい。

③ 定着ユニットで紙づまりした場合

1. 手差しトレイに残っている用紙を取り除きます。手差しトレイを閉じます。

2. フロントカバーとトップカバーを開けます。

3. 図のように紙がつまっていた場合、定着部カバーを、右側のレバー（E、と書いてあるレバー）を持って開けます。

4. つまっている用紙を取り除きます。

5. トップカバーを閉じます。

6. フロントカバーを閉じます。

④ 両面ユニットで紙づまりした場合

1．手差しトレイを開けます。

2．上部カバーを開けます。

3．中央の取っ手部分を持って両面印刷ユニットの内部カバーを開けます。

4．詰まっている用紙を取り除きます。

5．内部カバー
上部カバー
手差しトレイの順で閉じます。

⑤　排紙部で紙づまりした場合

1．排紙部につまっている用紙を
　取り除きます。

2．フロントカバーとトップカバーを開けます。

3．詰まっている用紙を取り除きます。

4．トップカバーを閉じます。

5．フロントカバーを閉じます。

プリンタに送信されたデータの消し方（リセット方法）

＜パネルと操作＞

プリンタ本体の液晶に「データガノコッテイマス」と表示され、”エラー”の所に赤色のランプが点滅している場合、この作業を行って下さい。

1．**キャンセル** ボタンを２秒以上押してから、離します。

2．“キャンセルチュウ” と液晶画面に表示し、データをリセットします。

“エラー”ランプの点滅が消えれば作業は終了です。
※ランプが消えない場合はプリンタの電源を切ってください。通常状態に戻らない場合は
下記の「ページ出力を途中で止める方法」をお試しください。

出力を途中で止める方法

印刷を中断したい場合、この作業をして下さい。

1．**印刷可** を押します。（プリンタパネルの中央にあります。）
印刷可のランプが消え、１～２枚の紙が排出され止まります。

2．財務及び販売管理のデータを出力している場合は、キーボードの**ＣＴＲＬ** **キーを押しながら、**
C キーを押します。画面が、メニュー画面に戻るのを確認します。

※Windowsプログラムからの印刷の場合（Word、Excel等）は、Windowsにおいて「印刷ジョブのクリア」又は「印刷ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄの削除」を選択して下さい。

3．プリンタの電源を切るか、プリンタの **キャンセル** を２秒以上押してから、離します。
電源を切ったプリンタは、約２０秒後に電源をいれます。

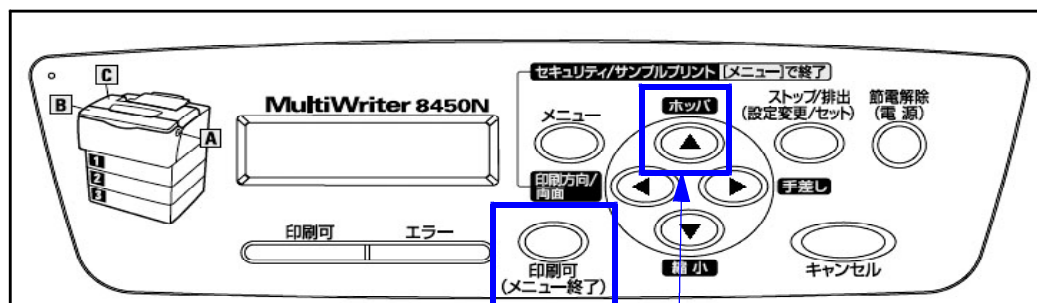
プリンタパネルの **エラー** の所の赤ランプが消え、印刷可のランプがつきましたら
出力中断作業は完了です。

プリンタ切換機が接続されている場合

プリンタの切替機が接続されている場合は、2.の作業を行った後、プリンタ切換機の電源コードを一端抜き、差し込んで下さい。

縮小印刷方法 ～Ｂ４出力をＡ４へ～ (NPP845)

NPP845では、用紙のサイズを変更して印刷することが可能です。
例として、「Ｂ４出力をＡ４用紙へ」縮小印刷する方法を説明します。

<パネルと操作>

1. プリンタの電源を切ります。

2. Ｂ４用紙がセットされているホッパの用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に変更します。

3. プリンタの電源を入れます。

4. 印刷可 を押し、ランプを消します。

5. ホッパ（▲）を押し、表示を**「ホッパ１又は２　Ａ４ヨコ ポート」**に変更します。
   （Ａ４が入っているホッパを指定します。）

6. 印刷可 を押し、ランプをつけます。

7. プリントの指示を出します。**「Ｂ４→Ａ４」**と表示され、出力を開始します。

   ※ もしも、**「ホッパ　Ｂ４セット」**と表示されましたら、印刷可 を押して下さい。
   「Ｂ４→Ａ４」と表示され印字を開始します。

指定がよくわからなくなってしまった場合

プリンタの電源を切り、最初からやり直して下さい。

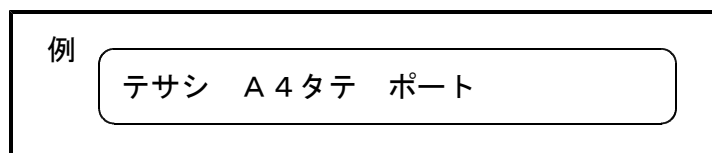
又は、

印刷可を押し、ホッパ（▲）を２回押し、印刷可を押してランプを付けると
最初からやり直すことができます。（初期設定に戻ります）

● 概　要

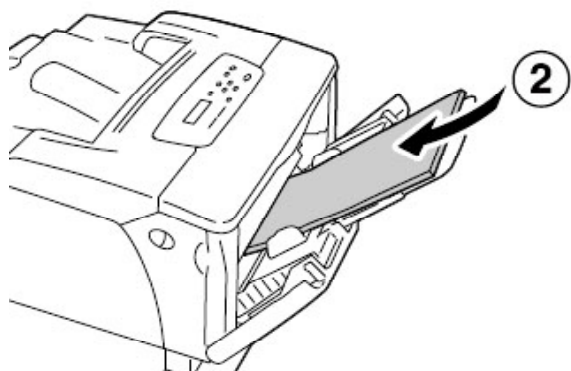
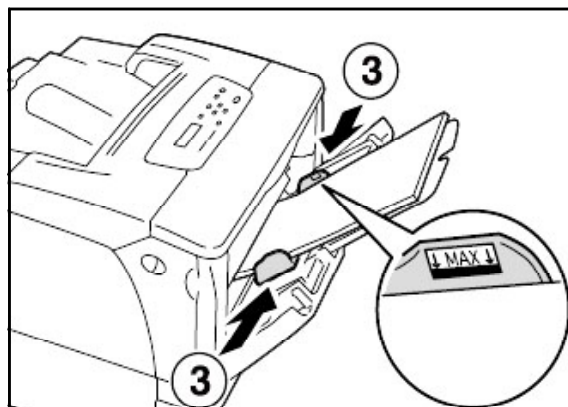
手差し印刷とは、手差しトレイに用紙を複数枚ｾｯﾄできますが１枚ずつ用紙を送る印刷方法です。
法人税申告書・確定申告書などの官製用紙を出力する際に使用します。

● 手差し方法

1. 印刷可を押してランプを消します。
2. 手差し（▶）を押します。
3. 手差し（▶）を何度か押し、用紙のサイズを選択します。

4. フロントカバーを１段階開けます。
　※２段階開けるとアラームが鳴ります。

※プリンタ本体前面の青緑色の部分が
　フロントカバーの1段階目です。

5. （長い用紙の場合は）延長トレイを引き出します。

6．印刷面を下にして用紙をセットします。

7.用紙に用紙ガイドを合わせます。

8.印刷可を押してランプをつけます。

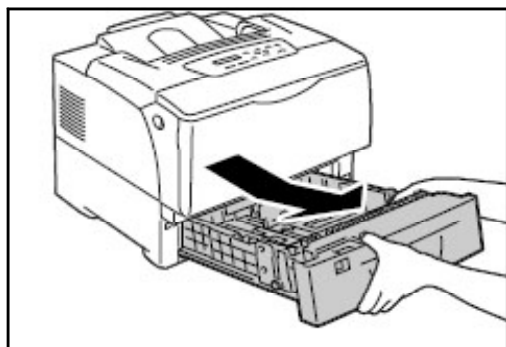
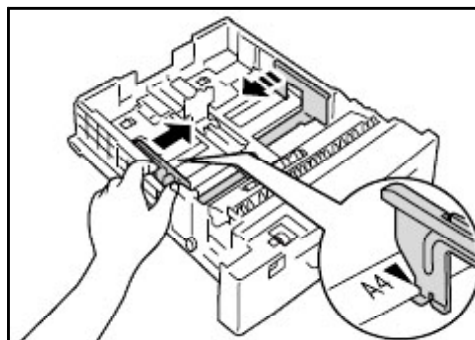
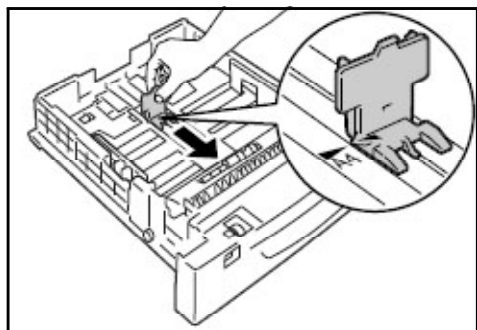
9．印刷が終了しましたら、延長トレイをたたみ、フロントカバーを閉じます。

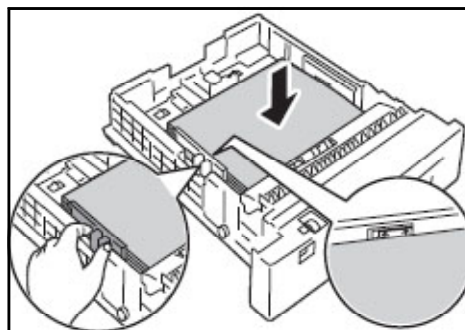
※　手差しトレイの用紙と同じサイズの用紙がホッパに入っている場合は、ホッパから出力します。
手差し優先にする場合は、該当するホッパの用紙サイズ表示を「＊」に切り替えてから出力してください。

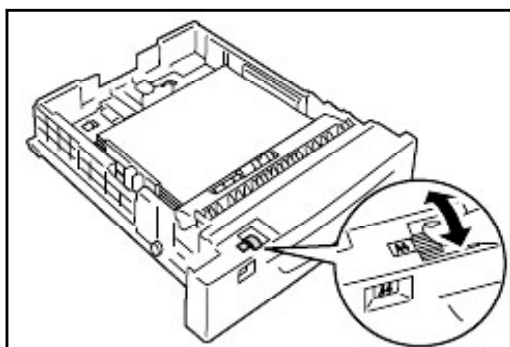
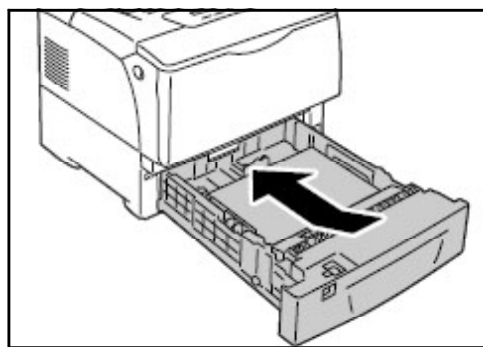
※　手差しからホッパに設定を戻す場合は、
印刷可を押してランプを消し　→　ホッパ（▲）を何回か押してホッパを選択
→　印刷可を押してランプをつけます。

ホッパ(引き出し)の用紙サイズ変更方法　(NPP845)

● 用紙サイズの変更方法

1．ホッパをプリンタから引き出します。
　机の上など平らな場所に置きます。

2．左の用紙ガイドクリップを指でつまんでスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせます。

3．中央のエンドガイドクリップを指でつまんでスライドさせ、使用する用紙のサイズまで動かします。

4．印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットします。

※元帳は穴を手前にしてセットします。

5．用紙サイズ設定ダイヤルを、セットした用紙サイズに合わせます。

※こちらで、プリンタが用紙サイズを認識しますので、必ず行って下さい。

6．ホッパをプリンタ内に差し込んで下さい。

● Ａ３、Ｂ４サイズをセットするときは、ホッパを伸ばします。
まず、ホッパ奥・左右の突起部分を同時に外側にスライドさせてロックを解除します。
次にホッパを引き出します。
最大まで引き出すと、先ほど解除したロックが自動的に掛かります。(ロック状態になります)
その後、中央のエンドガイドをＡ３、Ｂ４サイズに合わせます。